

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名	所在地
212街プロダクション	〒062-0031 札幌市豊平区西岡 1 条 5 丁目 9 - 8
代 表	
森 敬	
担 当	連絡先 tel
	011-851-8192
	fax
	同上
	e-mail

団体の活動プロフィール

北海道212市町村における地域振興・環境づくり構想を具体的に提言、講演活動、テキスト、図書出版、資料提供など、環境保全などに実績を残した。

■ 主なテキスト題名

NO. 1 21世紀 地域おこし新戦略

-地球温暖化と首都機能移転（既刊行）

NO. 2 『暴発の危機』-日本発の「臨界事故」（近々刊行予定）

NHKスペシャル「被爆治療83日間の記録」は医学的立場（東大病院 前川和彦医師）から、実相をアピールしたが、本テキスト『暴発の危機』は角度を変えて、総合的な視野から、日本産業史はじめての「原子力の災害の恐怖」をとりあげたドキュメンタリーである。字数94,000字、東京・新風舎と企画出版を交渉中。近々刊行をめざしている。

NO. 3 動き出す循環型社会 （近々刊行予定）

「このまま放置しておけば、地球は確実に滅亡してしまう」NGO環境政策提言の本命の究極は、地球温暖化の天敵である「大量生産・大量消費・大量廃棄」の経済システムをいかにして改革するかにつきる。全体を12要素に分類して、正当なNGO政策を行なう技法を説く。10万5,000字、近々発行を目指す同社と精力的に交渉中である。

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

(政策提言のエッセンスを下記フォーマットに基づいて紹介して下さい。)

(1) テーマ

環境関連政策提言のためのテキスト(一般教育)製作

(2) 政策対象分野

環境全般 テキスト・読み物作品は全分野にわたっている

(3) 政策手段

製作費の捻出方法

(4) 提言概要

環境関連NGO政策提言のための一般市民を巻き込んだ教育用テキストを製作、周知を図ることが望ましい。

そのテキスト名は、別紙(3)にその概要を記述した。

拙作品のN0.1.『21世紀の地域おこし新戦略 地球温暖化防止』既刊行、N0.2『暴発の危機』日本発の「臨界事故」未刊行、N0.3『動き出す循環型社会』の3作品は、大きくは「資源循環型経路社会への形成へ」として、1本化してよい内容である。テキストのあらましは、別紙(3)に述べましたので、ご高覧いただきたい。

環境に関するNGOの優れた政策提言を日本が発信国となって本格的活動の趣旨をテキスト集でアピールして欲しい。

(5) 政策の推進に当たっての検討事項

一般市民に根をおろしたNGO支援活動とするために、一般教育用テキストが必要である。今回のCOP6でみるブッシュ政権の議定書反対行動は、アメリカにしてその程度の認識である。

テキスト費用は、命題から南北問わず全世界の平和構築であるので、環境ODA、教育費で処理できれば最良である。